

くら つき よう すい
鞍月用水

▶ 石川県金沢市



鞍月用水は藩政時代に作られた用水で、犀川中流部から分派して金沢市の中心部を貫流し、古くから市民に親しまれ、沿川住民のシンボルとなっていた。

しかし近年、老朽化が著しく、改修することとなったが、城下町の面影を強く残している金沢の中でも、特に長町付近は市の文化ゾーンとなっており、周囲の景観との調和が求められた。そのため整備にあたっては、地域のイメージに沿って自然味を出すため、自然石を用い、コンピュータを利用して、護岸表面に凸凹ができるように工夫し、文化と気品のある水辺空間の創出が図られている。

データボード^④

- ① 石川県金沢市長町1丁目
- ② 延長135m
- ③ 環境護岸
- ④ 自然石(雑割石)